

利用するにあたって

【対象】 障害児（聴覚・言語、知的、発達、肢体不自由）

※対象学年：小学生～高校生

※現在、ろう児・難聴児は全体の100%

【利用定員】1日10名

【利用時間】

平日：授業終了～午後5時30分

土曜日：午前9時～午後5時（月1～2回）

長期休暇：午前9時～午後5時

閉所：一日開所日以外の土日、国民の祝日、お盆休暇、年末年始

【料金】

利用料：児童通所給付費の制度による自己負担があります。

詳しくは当事業所までお問い合わせください。

おやつ代：1回50円

参加費：企画時に参加費として実費負担させていただくことがあります。

【利用申込方法】 まずはメール・電話・FAXでご相談ください。

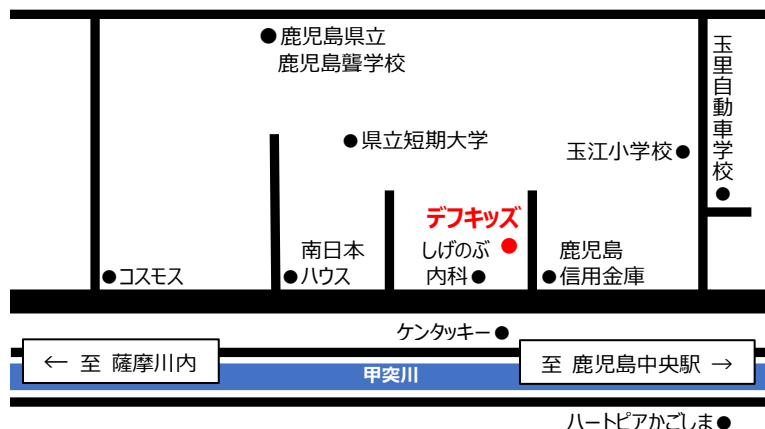
アクセス・お問い合わせ先

住所：鹿児島県鹿児島市下伊敷1-43-2 コーポ種子田2F

※当事業所は2階にあります。

メール：deaf-kids@deaf-net.org

電話：099-295-0527 FAX：099-295-0528



※鹿児島県立鹿児島聾学校まで徒歩 約10分

放課後等デイサービス

デフキッズ



特定非営利活動法人

NPO デフ Network かごしま

利用者の皆様との約束（方針）

1 「手話の力」

ろう・難聴スタッフと手話ができるスタッフのもと、手話の力を伸ばします。ろう・難聴スタッフは子ども達のロールモデルにもなり、また視覚的なコミュニケーションを用いることで確実に意思疎通が図れるようにします。同時に、さまざまな活動を通して手話で「分かる」という達成感を積み重ねていきます。

2 「考える力」

子どもの自主的な活動において、音声情報を得るために手話通訳などを利用し、自ら考え主体的に社会に参加できるようにします。情報を可視化することで「知る」「分かる」機会を増やし、聞こえる子どもと変わらない情報を得ることによって思考力を高めます。

3 「生きる力」

ろうとしてのアイデンティティ形成と社会性の向上を促します。友達と喜びを分かち合う場所としてはもちろん、ろう・難聴スタッフが子ども達にとって将来のロールモデルとして関わりを持ち、多くの成功体験へと導き、達成感を感じることで子ども達の自己肯定感を高めます。友達を通して仲間を形成し、自分自身や家族以外の他者との繋がりを大切にすることで、豊かに生きる力を育みます。

ろう・難聴当事者ならではの知見や経験からのアドバイス、また幅広いネットワークを活かした支援がデフキッズの最大の強みです。

子どもたちの「手話の力」「考える力」「生きる力」の育成を目指していきます。

デフキッズの様子を知りたい方はこちら

Instagram : https://www.instagram.com/deaf_kids.kagoshima/

ホームページ : <http://www.deaf-net.org/>

※NPO デフ Network かごしまのホームページ内にあります



Instagram



HP

一日の流れ

【平日】

来所
▼
宿題・フリータイム
おやつタイム
▼
遊日・DK トーク
(月 1~2 回)
▼
帰宅

【一日開所】

土曜企画(月 1~2 回)・中高生企画(不定期開催)
長期休暇(春期・夏期・冬期)

来所
▼
午前の企画 or フリータイム
▼
昼食
▼
午後の企画 or フリータイム
おやつタイム
▼
帰宅

【平日】 平日は、子どもたちが自ら遊びを考え、友達と一緒に楽しく過ごします。学校が早く終わる日も対応しております。（始業式、修了式など）

・遊日(あそび) 「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の5領域に沿った企画を用意しています。

・DK(デフキッズ)トーク 毎回決められたテーマを基にディスカッションを行います。自分の意見を伝えること、相手の話を聞くことを通して、お互いの考えを深め合います。

【一日開所】 小学生から高校生の児童・生徒が通所します。ここでは異年齢集団による充実した交流を提供します。（屋外：サイクリング、農業、裁判所見学など）（屋内：調理・製作体験、謎解きゲーム、映画鑑賞など）※必要に応じて手話通訳をつけ、確実な情報保障を実施します。

活動の様子

平日



ごっこ遊び



おやつ作り

遊日



カップインゲーム



知恵の輪

DK トーク



この意味なに？



イメージを表現

一日開所



錦江湾公園



インドネシアろう者と交流